

2017年2月期（第3期） 第2四半期決算説明会資料

2016年10月11日（火） 大阪開催
2016年10月13日（木） 東京開催

 **キリン堂ホールディングス**
(東証1部 証券コード：3194)

Kirindo
Health & Beauty

処方せん
受付

Agenda

1. 2017年2月期 第2四半期 決算概要
2. 下期及び通期業績計画
3. 今後の取り組み
4. Appendix

【連結】2017年2月期 第2四半期 (P/L)

Kirindo
Health & Beauty

処方せん
受付

● 連結

(単位：百万円、%)

	キリン堂HD 2016/2期 2Q累計 (2015.3.1~2015.8.31)		キリン堂HD 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)		前年同期増減		期初計画増減	
		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	56,327	100.0	57,773	100.0	1,446	2.6	△1,726	△2.9
売上総利益	15,039	26.7	15,232	26.4	193	1.3	△737	△4.6
販管費	14,064	25.0	14,772	25.6	708	5.0	△107	△0.7
営業利益	975	1.7	460	0.8	△514	△52.8	△629	△57.8
経常利益	1,232	2.2	751	1.3	△480	△39.0	△598	△44.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	431	0.8	121	0.2	△310	△71.8	△338	△73.5

● セグメント情報

(単位：百万円、%)

	2016/2期 2Q累計 (2015.3.1~2015.8.31)	2017/2期 累計 (2016.3.1~2016.8.31)	前年同期増減	
				同期比
小売事業	55,421	57,048	1,627	2.9
その他	905	725	△180	△19.9
連結売上高	56,327	57,773	1,446	2.6
小売事業	1,379	948	△431	△31.3
その他	24	△57	△82	-
調整	△428	△430	△1	-
連結営業利益	975	460	△514	△52.8

増収・減益
計画未達

小売事業
(子会社 キリン堂)
の状況

【キリン堂】業績ハイライト



【増収・減益の主因】

- 売上高 : 新店寄与により、前年同期比 2.9%増。
- 売上総利益 : 相対的に粗利率の高い季節商材の伸び悩み、薬価・調剤報酬改定の影響、中国越境ECを取り巻く環境の変化により、売上総利益率は前年同期比 0.3p低下するも、増収効果により、前年同期比 1.9%増。
- 販管費 : 新店増による経費負担（人件費、施設費）により、前年同期比 5.2%増。

⇒ 結果、販管費の増加を売上総利益の増加で吸収できず、営業利益以下減益。

● 子会社 キリン堂

(単位：百万円、%)

	キリン堂 2016/2期 2Q累計 (2015.3.1~2015.8.31)		キリン堂 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)		前年同期増減		期初計画増減	
		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	55,574	100.0	57,199	100.0	1,625	2.9	△1,607	△2.7
売上総利益	14,710	26.5	14,990	26.2	280	1.9	△676	△4.3
販管費	13,733	24.7	14,452	25.3	719	5.2	△86	△0.6
営業利益	977	1.8	537	0.9	△439	△45.0	△590	△52.3
経常利益	1,250	2.3	857	1.5	△392	△31.4	△522	△37.8
四半期純利益	490	0.9	220	0.4	△269	△54.9	△296	△57.3

2017年2月期の方針 (期初発表時)



1. 売上総利益高の確保

(1) 売上高拡大

① 既存店の活性化

- ポイントカードの新規会員獲得の推進と会員販促の実施
- ハウスホールド商品・食品を軸とした集客対策
- 売場改装 (40店舗計画)

② 新規出店と早期立ち上げ

③ 中国越境ECビジネスの規模拡大

(2) 粗利率対策

① 未病対策を軸としたカウンセリング販売

② ヘルス&ビューティケア商品を中心としたPB商品の育成と開発 (PB比率11%目標)

③ 部門別原価率の改善と徹底

2. 販管費の計画内コントロールの徹底

【キリン堂】主な部門の状況



- 主な部門における科目別（2017/2期2Q累計の前年同期増減）

（単位：百万円）

区 分	ドラッグストア	調 剤	通販等 (海外卸含む)	本 部	キリン堂計
売 上 高	1,455	250	△109	29	1,625
売 上 総 利 益	389	△53	△112	56	280
販 管 費	398	120	9	192	719
営 業 利 益	△9	△173	△121	△137	△439

【キリン堂】ドラッグストアの状況



● ドラッグストア 既存店・新店別 前年同期増減

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	販管費	営業利益
既存店	△246	171	△117	288
新店	2,880	508	768	△260

※ 売上総利益には、リベートを含まず。

● ドラッグストア（既存店）商品部門別 前年同期増減

(単位：百万円、p)

	売上高	粗利率相乗積
医薬品	△55	-
健康食品	△19	-
化粧品	△256	-
育児用品	△368	-
雑貨等	450	0.5
計	△246	0.5

● ドラッグストア 科目別 前年同期増減

	金額 (単位：百万円)	コメント
売上高	1,455	既存店売上高は、前年同期比△0.5%（前年同期差△246百万円）となるも、新店寄与（前年同期差+2,880百万円）により、増収。
売上総利益	389	新店の売上増に伴う売上総利益増に加え、既存店の粗利率が前年同期比+0.5pによる売上総利益増により、売上総利益増益。
販管費	398	新店増に伴う経費増加 ※ 前期新店13店舗（上期4店舗、下期9店舗）、当上期新店12店舗
営業利益	△9	新店及び既存店の売上総利益増で、新店増に伴う経費増加をほぼ吸収。

【キリン堂】調剤の状況



● 調剤 既存店・新店別 前年同期増減

(単位：百万円)

	売上高	売上総利益	販管費	営業利益
既存店	189	△76	35	△111
新店	61	23	62	△39

【当期の取り組み】

- (1) 新規開局
期初計画7店舗（上期4店舗、下期3店舗）に対し
当上期5店舗開局 * 既存店への併設含む
- (2) 薬剤師確保並びに育成
- (3) 診療報酬改定への対応
- (4) 店舗オペレーションの統一と効率化

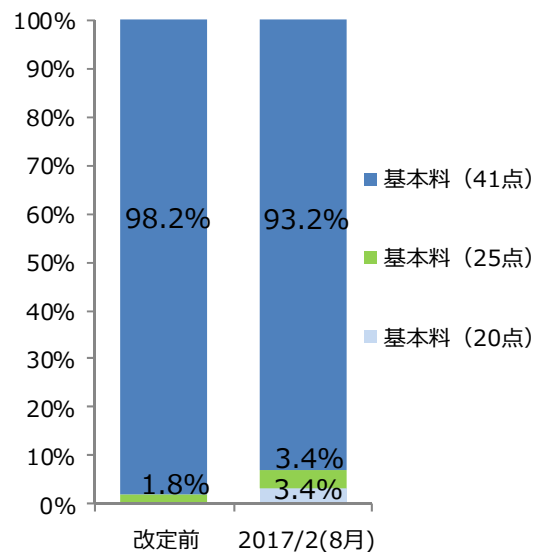
● 調剤 科目別 前年同期増減

	金額 (単位：百万円)	コメント
売上高	250	薬価引き下げ並びに診療報酬改定による影響はあるものの、 処方せん応需枚数増（前年同期比+4.5%増）により、増収。 ※ 処方せん取扱店舗数：当2Q末 60店舗（前年同期末 53店舗）
売上総利益	△53	診療報酬改定の影響、暫定薬価による薬価差益の減少により、売上総利益減益。
販管費	120	新店増に伴う経費増加 ※ 前期新規開局3店舗（下期3店舗）、当上期新規開局5店舗 * 既存店への併設含む
営業利益	△173	

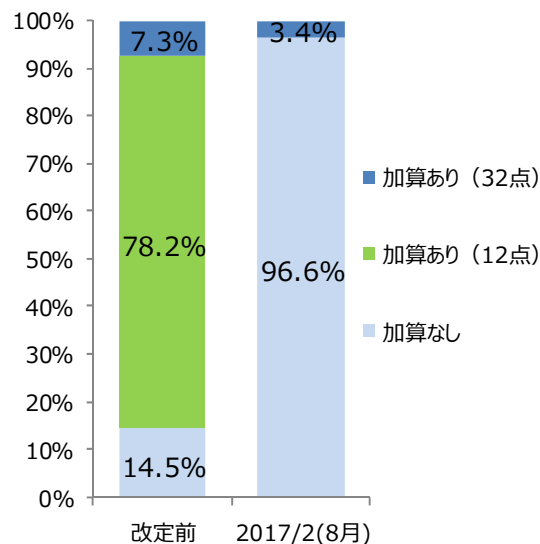
【キリン堂】調剤の状況（改定の影響）



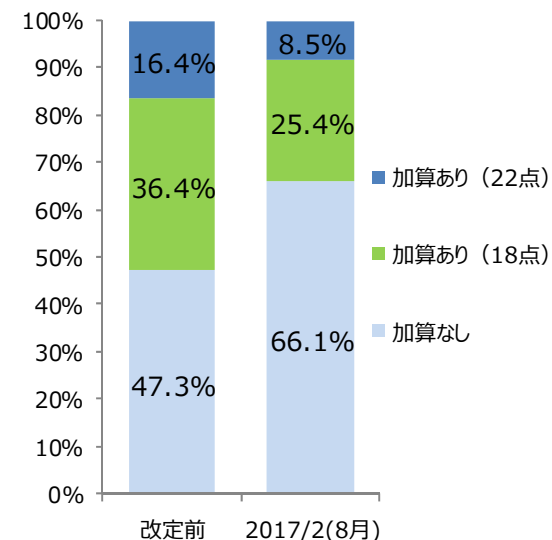
調剤基本料
店舗割合



基準調剤加算
店舗割合



GE医薬品調剤体制加算
店舗割合



【今後の課題】

調剤技術料の加算獲得

- (1) かかりつけ薬剤師の育成
- (2) 在宅対応店舗の増加

※ 当2Q末：処方せん取扱店舗60店舗中、14店舗にて実施

【キリン堂】通販等の状況



● 通販等 科目別 前年同期増減

	金額 (単位：百万円)	コメント
売上高	△109	中国越境ECにかかる税制変更や保税區活用の制限による影響を受け、減収。
売上総利益	△112	上記に加え、保税區活用制限の猶予期間を利用した保税區的在庫整理等により、売上総利益減益。
販管費	9	
営業利益	△121	

※ 通販（国内及び海外）のほか、海外卸を含む

【中国越境ECを取り巻く外部環境の変化】

- ① 4月8日：中国政府が越境ECにかかる新通達公布
- ② 6月1日：EMS(国際スピード郵便)料金の改定
- ③ 円高の進行

【今後の課題】

- (1) 中国越境ECの販路拡大
- (2) オペレーションコストの見直し

【小売事業】商品部門別の状況



(単位：百万円、%、p)

区分	キリン堂HD 2016/2期 2Q累計 (2015.3.1~2015.8.31)			キリン堂HD 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)			売上高 同期比	粗利率 相乗積 同期比	備考	
	構成比	粗利率		構成比	粗利率					
商品 売上 高	医薬品	9,582	17.3	36.3	9,775	17.1	36.2	2.0	—	
	健康食品	2,377	4.3	38.5	2,385	4.2	37.8	0.3	—	
	化粧品	13,816	24.9	27.6	14,035	24.6	28.1	1.6	—	値入率コントロールを計画以上に 押し進めたことによるトイレットリーの 販売苦戦
	育児用品	1,686	3.1	14.7	1,349	2.4	15.5	△20.0	△0.1	中国向け紙オムツの買い占めの減 少
	雑貨等	22,402	40.4	18.9	23,779	41.7	19.0	6.1	0.3	値入率コントロールが奏効
調剤売上高	4,893	8.8	34.1	5,144	9.0	31.4	5.1	△0.2	○処方せん応需枚数増による増収 ○薬価・診療報酬改定の影響に よる粗利率の低下	
その他	661	1.2		580	1.0		△12.3	△0.2	中国越境ECを取り巻く環境の変化 による海外通販の落ち込み	
合計	55,421	100.0	26.5	57,048	100.0	26.3	2.9	△0.2		

【連結】販管費の状況



(単位：百万円、%)

	キリン堂HD 2016/2期 2Q累計 (2015.3.1~2015.8.31)		キリン堂HD 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)		前年同期 増減		期初計画 増減		備考 (前年同期増減)
		売上比		売上比		同期比		期初 計画比	
販売費	996	1.7	1,015	1.8	18	1.9	△46	△4.4	
人件費	7,022	12.5	7,502	13.0	479	6.8	24	0.3	報酬及び給料手当 (237百万円) 賞与引当金繰入額 (170百万円)
営業費	2,457	4.4	2,540	4.4	83	3.4	△54	△2.1	修繕費 (34百万円) 雑費 (33百万円) 物流費 (25百万円) 水道光熱費 (△47百万円)
施設費	3,587	6.4	3,714	6.4	126	3.5	△30	△0.8	地代家賃費 (162百万円) リース料 (△32百万円)
合計	14,064	25.0	14,772	25.6	708	5.0	△107	△0.7	

【連結】2017年2月期 第2四半期 (B/S)



(単位：百万円)

	キリン堂HD 2016/2期末 (2016.2.29)	キリン堂HD 2017/2期 2Q末 (2016.8.31)		キリン堂HD 2016/2期末 (2016.2.29)	キリン堂HD 2017/2期 2Q末 (2016.8.31)
流動資産	26,086	27,938	負債	32,617	34,719
現金	7,207	8,835	仕入債務	15,522	17,367
売上債権	2,114	2,005	短期有利子負債	2,959	3,769
たな卸資産	13,763	14,398	長期有利子負債	7,220	7,335
固定資産	19,127	19,328	純資産	12,596	12,547
有形固定資産	9,572	9,942	負債純資産合計	45,213	47,266
無形固定資産	828	578			
投資その他の資産	8,726	8,807			

- 〔資産〕 472億66百万円／前連結会計年度末差 20億52百万円増加
 - ・ 現金及び預金の増加（16億28百万円）、たな卸資産の増加（6億29百万円）
受取手形及び売掛金の減少（1億9百万円）など
- 〔負債〕 347億19百万円／前連結会計年度末差 21億2百万円増加
 - ・ 支払手形及び買掛金の増加（10億37百万円）、電子記録債務の増加（8億8百万円）
短期借入金の増加（6億95百万円）など
- 〔純資産〕 125億47百万円／前連結会計年度末差 49百万円減少
 - ・ 利益剰余金の減少（19百万円）、為替換算調整勘定の減少（15百万円）、非支配株主持分の減少（21百万円）など

【連結】2017年2月期第2四半期 (C/F)



	キリン堂HD 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)	(備考)
営業活動による キャッシュ・フロー	20億42百万円 (前年同期： 20億23百万円の収入)	<主な増加要因> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金等調整前四半期純利益 4億83百万円 ・ 減価償却費 6億20百万円 ・ のれん償却額 2億32百万円 ・ 減損損失 1億93百万円 ・ 仕入債務の増加 18億81百万円 ・ 法人税等の還付額 2億32百万円 <主な減少要因> <ul style="list-style-type: none"> ・ たな卸資産の増加 6億75百万円 ・ 法人税等の支払額 10億62百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	10億31百万円 (前年同期： 5億79百万円の支出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規出店や改装等に伴う 有形固定資産の取得による支出 10億円
財務活動による キャッシュ・フロー	6億70百万円 (前年同期： 1億34百万円の収入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期借入金の純増額 6億97百万円 ・ 長期借入金の収支による収入超過 2億29百万円 ・ 配当金の支払額 1億41百万円 ・ 割賦債務の返済による支出 1億27百万円
現金及び現金同等物の 四半期末残高	90億78百万円 (前連結会計年度末差 16億67百万円増)	

Agenda

1. 2017年2月期 第2四半期 決算概要
2. 下期及び通期業績計画
3. 今後の取り組み
4. Appendix

2017年2月期下期の方針



期初発表の諸施策を積極的に推進

1. 売上総利益高の確保

(1) 売上高拡大

① 既存店の活性化

- ポイントカードの新規会員獲得の推進と会員販促の実施
- ハウスホールド商品・食品を軸とした集客対策
- 売場改装（40店舗計画／内、上期15店舗実施）

② 新規出店と早期立ち上げ

③ 中国越境ECビジネスの規模拡大

→ 通期期初計画を下方修正、今後の課題への取り組み（スライド9頁ご参照）

(2) 粗利率対策

① 未病対策を軸としたカウンセリング販売

② ヘルス&ビューティケア商品を中心としたPB商品の育成と開発（PB比率11%目標）

③ 部門別原価率の改善と徹底

2. 販管費の計画内コントロールの徹底

【連結】2017年2月期 通期業績計画を下方修正



- 上期 ⇒ 実績値へ下方修正 (2016年10月6日付)
 [連結売上高] 期初計画差 $\Delta 1,726$ 百万円 の修正
 [連結営業利益] 期初計画差 $\Delta 629$ 百万円 の修正

- 下期 ⇒ 下方修正 (2016年10月6日付)
 [連結売上高] 期初計画差 $\Delta 2,873$ 百万円 の修正
 [連結営業利益] 期初計画差 $\Delta 910$ 百万円 の修正

- 既存店売上高伸長率・出退店の前提

	上期実績	下期修正計画	通期修正計画
既存店売上高伸長率	$\Delta 0.1\%$	$\Delta 0.7\%$	$\Delta 0.4\%$
出店	13店	14店	27店
退店	10店	4店	14店

	主な部門	下期の主な修正ポイント	
子会社 キリン堂	ドラッグストア	○ 既存店 ○ 新店	✓ 売上高は期初計画どおりを見込むも、人件費再考による費用増 ✓ 出店店舗数の修正（期初計画に対し通期で2店舗増）による人件費等の費用増 ⇒ [売上高] 期初計画どおり [営業利益] 期初計画差 $\Delta 130$ 百万円
	調剤	○ 既存店 ○ 新店	✓ 診療報酬改定の影響、C型肝炎治療薬の落ち込みを再考し、売上高及び営業利益を減額 ✓ 上記診療報酬改定の影響等による売上高及び営業利益を減額のほか、開局店舗数の修正（期初計画に対し通期で4店舗増）による人件費等の費用増 ⇒ [売上高] 期初計画差 $\Delta 678$ 百万円 [営業利益] 期初計画差 $\Delta 283$ 百万円
	通販等	○ 越境EC	✓ 中国越境ECにかかる税制変更や保税区活用の制限による落ち込みを再考 ⇒ [売上高] 期初計画差 $\Delta 2,040$ 百万円 [営業利益] 期初計画差 $\Delta 292$ 百万円

【連結】2017年2月期 下期計画 (P/L)



● 連結

(単位：百万円、%)

	キリン堂HD 2016/2期下期 実績 (2015.9.1~2016.2.29)		キリン堂HD 2017/2期下期 期初計画 (2016.9.1~2017.2.28)		キリン堂HD 2017/2期下期 修正計画 (2016.9.1~2017.2.28)		前年同期増減		(参考) 期初計画増減	
		構成比		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	56,575	100.0	60,900	100.0	58,026	100.0	1,450	2.6	△2,873	△4.7
売上総利益	15,217	26.9	16,940	27.8	15,615	26.9	397	2.6	△1,324	△7.8
販管費	14,493	25.6	15,560	25.5	15,145	26.1	652	4.5	△414	△2.7
営業利益	724	1.3	1,380	2.3	469	0.8	△254	△35.1	△910	△66.0
経常利益	1,088	1.9	1,650	2.7	668	1.2	△420	△38.6	△981	△59.5
親会社株主に 帰属する純利益	394	0.7	610	1.0	98	0.2	△296	△75.1	△511	△83.9

● 子会社 キリン堂

(単位：百万円、%)

	キリン堂 2016/2期下期 実績 (2015.9.1~2016.2.29)		キリン堂 2017/2期下期 期初計画 (2016.9.1~2017.2.28)		キリン堂 2017/2期下期 修正計画 (2016.9.1~2017.2.28)		前年同期増減		(参考) 期初計画増減	
		構成比		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	55,981	100.0	60,137	100.0	57,411	100.0	1,430	2.6	△2,725	△4.5
売上総利益	15,155	27.1	16,654	27.7	15,420	26.9	265	1.7	△1,233	△7.4
販管費	14,145	25.3	15,231	25.3	14,812	25.8	666	4.7	△418	△2.8
営業利益	1,010	1.8	1,423	2.4	608	1.1	△401	△39.8	△814	△57.2
経常利益	1,351	2.4	1,673	2.8	785	1.4	△566	△41.9	△887	△53.1
純利益	597	1.1	645	1.1	219	0.4	△378	△63.2	△426	△66.0

【連結】2017年2月期 通期計画 (P/L)



● 連結

(単位：百万円、%)

	キリン堂HD 2016/2期実績 (2015.3.1~2016.2.29)		キリン堂HD 2017/2期 期初計画 (2016.3.1~2017.2.28)		キリン堂HD 2017/2期 修正計画 (2016.3.1~2017.2.28)		前期増減		(参考) 期初計画増減	
		構成比		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	112,902	100.0	120,400	100.0	115,800	100.0	2,897	2.6	△4,600	△3.8
売上総利益	30,256	26.8	32,910	27.3	30,848	26.6	591	2.0	△2,062	△6.3
販管費	28,557	25.3	30,440	25.2	29,918	25.8	1,360	4.8	△522	△1.7
営業利益	1,699	1.5	2,470	2.1	930	0.8	△769	△45.3	△1,540	△62.3
経常利益	2,320	2.1	3,000	2.5	1,420	1.2	△900	△38.8	△1,580	△52.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	826	0.7	1,070	0.9	220	0.2	△606	△73.4	△850	△79.4

● 子会社 キリン堂

(単位：百万円、%)

	キリン堂 2016/2期実績 (2015.3.1~2016.2.29)		キリン堂 2017/2期 期初計画 (2016.3.1~2017.2.28)		キリン堂 2017/2期 修正計画 (2016.3.1~2017.2.28)		前期増減		(参考) 期初計画増減	
		構成比		構成比		構成比		同期比		期初計画比
売上高	111,555	100.0	118,944	100.0	114,766	100.0	3,211	2.9	△4,178	△3.5
売上総利益	29,866	26.8	32,321	27.1	30,463	26.5	596	2.0	△1,858	△5.7
販管費	27,878	25.0	29,770	25.0	29,378	25.6	1,499	5.4	△391	△1.3
営業利益	1,987	1.8	2,551	2.1	1,085	0.9	△902	△45.4	△1,466	△57.5
経常利益	2,602	2.3	3,053	2.6	1,579	1.4	△1,022	△39.3	△1,473	△48.3
当期純利益	1,088	1.0	1,163	1.0	385	0.3	△702	△64.6	△777	△66.9

Agenda

1. 2017年2月期 第2四半期 決算概要
2. 下期及び通期業績計画
3. 今後の取り組み
4. Appendix

今後の重点取り組み



【背景】

関西地区における売上シェア順位は第3位だが、鈍化傾向。
課題は、「社会の変化・お客様の変化・競合他社の変化」に対する
スピーディな意識&行動の変革。

【今後の重点取り組み】

(1) ドラッグストア

- ヘルス&ビューティの販売力及び開発力の強化
- 関西地区における出店スピードアップによるドミナントの深耕
 - ① 自社ドミナントの強化
 - ② 都市型店舗の開発(オフィス立地、ターミナル立地、繁華街立地)
 - ③ 既存店の活性化(改装及びスクラップ&ビルド)

(2) 調剤

- 調剤併設店舗開局の推進
- 調剤技術料の加算獲得
(かかりつけ薬剤師の育成、在宅対応店舗の増加)

(3) 既存事業への経営・人的資源の集中

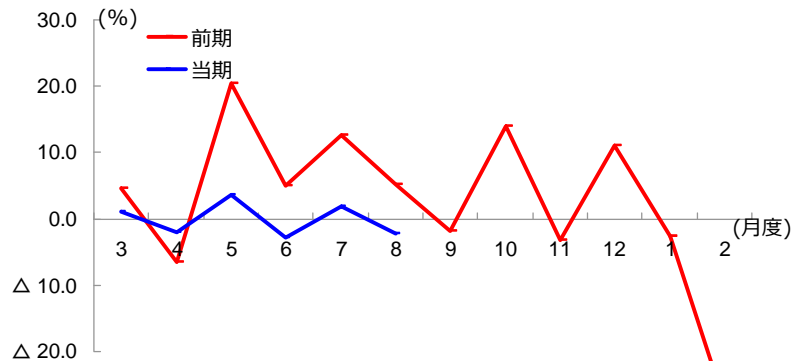
Agenda

1. 2017年2月期 第2四半期 決算概要
2. 通期業績計画
3. 今後の取り組み
4. Appendix

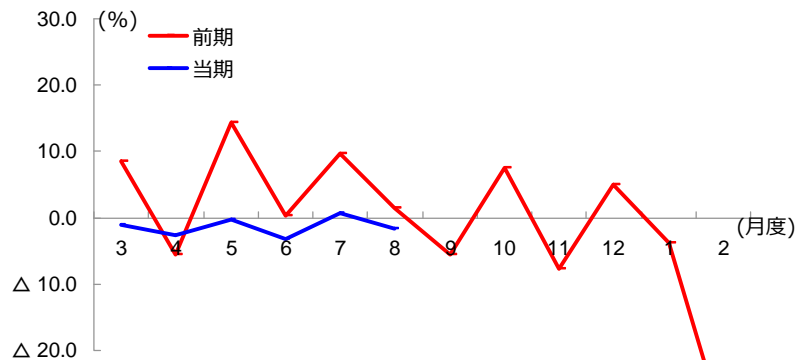
既存店の進捗状況（当上期）



既存店売上高



既存店客数



※ 前期2月度：決算日変更に伴う影響によりマイナス

- ポイントカード会員の拡大(既存店119万人、全店128万人)とポイントカードを利用した会員向け販促の推進
- お客様の利便性の向上対策
 - 売場改装(15店舗)による来店動機の創出(主に、ハウスホールド商品、食品の導入)
- 未病対策の提案
 - ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売やPB商品の販売強化

<既存店の状況>

	1Q	2Q	上期
売上高 (%)	+0.8	△1.0	△0.1
客数 (%)	△1.3	△1.4	△1.3
客単価 (%)	+2.2	+0.3	+1.2

【連結】国内出退店の進捗状況（当上期）



出店13店舗、退店10店舗 ➡ 国内グループ店舗数：337店舗



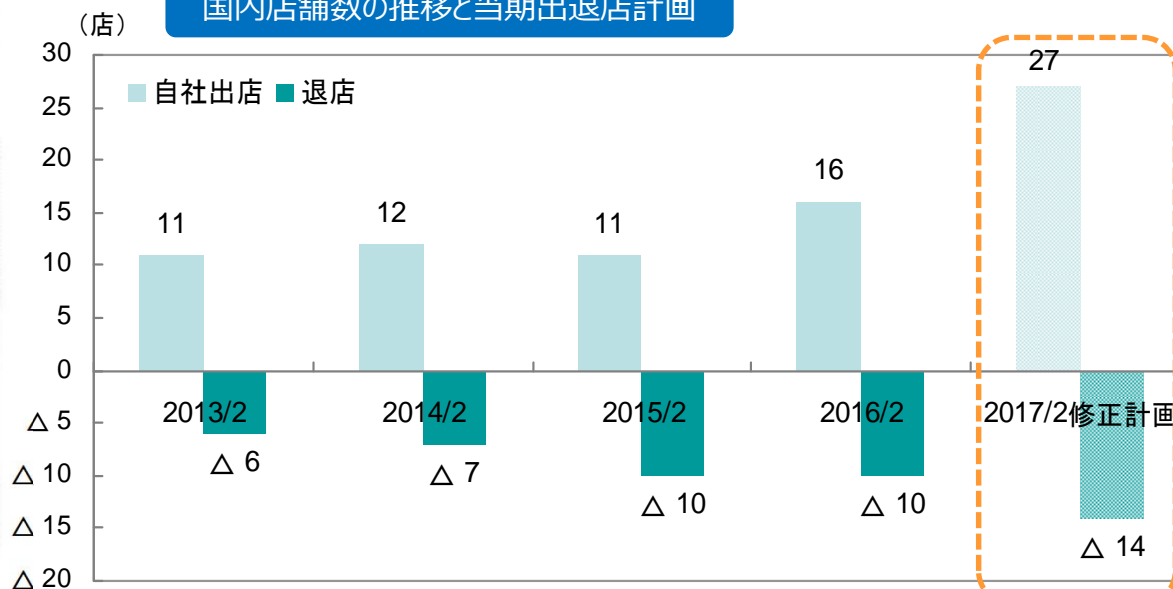
△ 「Cosme de lu-up Ario八尾店」 (4月オープン)



△ 「肥後橋店」 (6月オープン)

- 関西地区への集中出店
- 郊外型・住宅型がメイン
- 新店の早期立ち上げ（新店企画部が担当）
- 都市型フォーマットの確立（新業態開発部が担当）

国内店舗数の推移と当期出退店計画



※ 出退店数 期初計画差+4店舗、退店数 期初計画差 +3店舗

PB商品取り組みの進捗状況（当上期）



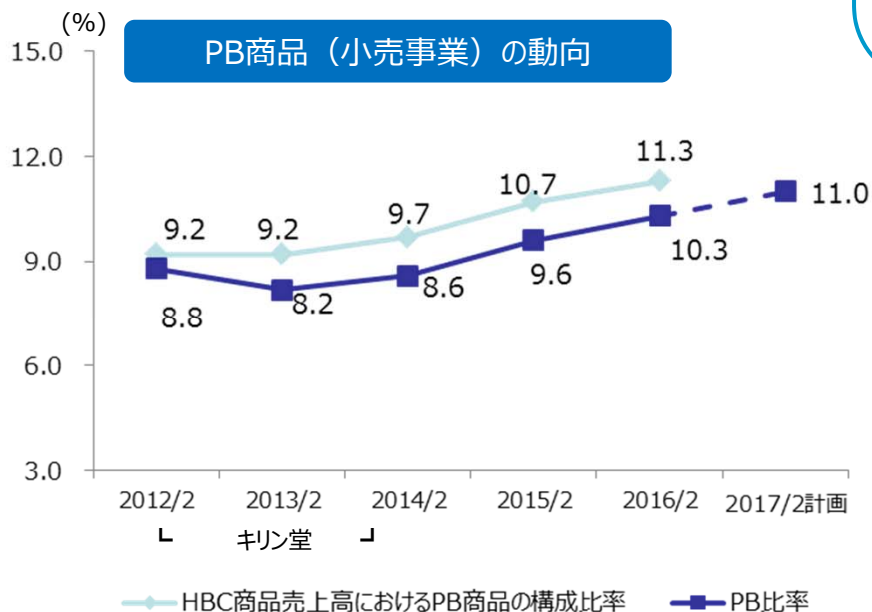
● 第2四半期累計の実績

	キリン堂HD 2017/2期 2Q累計 (2016.3.1~2016.8.31)
PB比率	10.4% (前年同期比 +0.5p)
HBC商品売上高におけるPB商品の構成比率	58.1%

※ 新規開発SKU数
94SKU (内、HBC商品 33SKU)

【当期の取り組み】

- ヘルス&ビューティケア商品を中心としたPB商品の育成と開発
 - ① リニューアルの推進
 - 成分強化、規格増量、規格追加 など
 - ② 潜在需要開拓PB商品へのチャレンジ
 - スーパーフード（チアシード など）
 - 新規メーカー様とのタイアップ
 - 新素材（イミダペプチド、サミー など）
- セルフ販売を基本とした価格訴求型PB商品の売場展開
- 教育・売場・販促の連携促進





『地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン』の確立

関西地区における小商圈フォーマットでのドミナント深耕

- 「楽・美・健・快」のコンセプトに沿った顧客第一主義の店づくり
 - － 「未病対策をテーマとした健康・美容の専門性」 + 「利便性」
- グループシナジーの発揮による企業価値向上を通じた持続的成長の実現

「第1次中期経営計画」

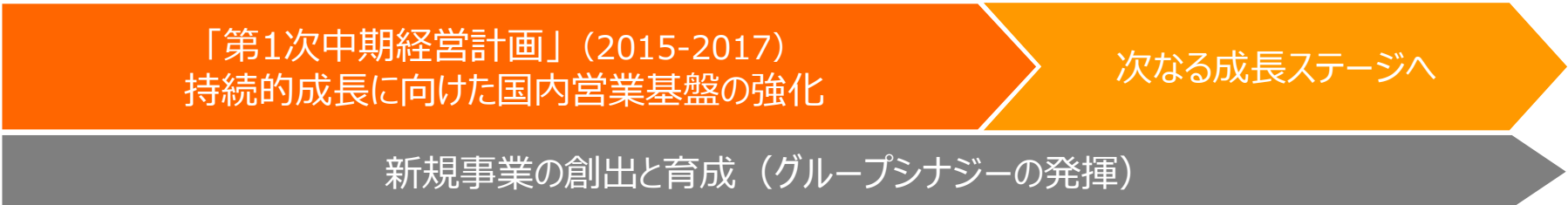


【第1次中期経営計画の基本テーマ】



【定量目標】 2016年10月6日 通期連結業績下方修正

- 売上高 … 1,204億円 → 1,158億円へ
- 営業利益 … 24億70百万円 → 9億30百万円へ
- 営業利益率 … 2.1% → 0.8%へ
- ROE … ~~8%以上~~ → 第2次中期経営計画にて公表



第1次中期経営計画の基本テーマ



① 収益力の改善

～ キリン堂の収益力改善 ～

- PB商品の育成と開発の推進
 - － ヘルス&ビューティの販売力及び開発力の強化
 - － 2017年2月期の定量目標：PB比率 11%

② 経営効率向上と徹底したコストコントロール

～ キリン堂の経営効率向上と徹底したコストコントロール ～

- 効率的な人員配置
 - － アシスタントスタッフの業務範囲の拡張
- 経費削減の推進
- 不採算店のスクラップ&ビルド

③ 新規出店による売上高成長

～ キリン堂の新規出店による売上高成長 ～

- ドラッグストア 45店舗出店/3期間
 - － 関西地区への継続出店
 - － 新店の早期立ち上げ
- 処方せん取扱店舗 +11店舗/3期間（既存店への併設含む）
 - － 薬剤師の確保及び養成

- 当資料は、あくまで株式会社麒麟堂ホールディングスをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものでなく、これらに関する投資アドバイス目的で作成されたものではありません。
また当資料に記載されている当社の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の実績等に関する見通しであります。
これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づくものであり、経営環境の変動等のリスクや不確定な要因を含んでおります。
そのため、実際の業績につきましては、これらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
従いまして、投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますのでご注意ください。
- この資料は株式会社麒麟堂ホールディングスから直接提供するという方法のみで配布いたしております。提供されましたお客様限りでご利用下さい。
また、この資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社麒麟堂ホールディングスに帰属しております。無断での複製または転送等を行わないようお願いいたします。

－ お問い合わせ先 －

 **麒麟堂ホールディングス** 経営企画部 IR・広報室

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-5-36

TEL : 06-6394-0450(直通) FAX : 06-6394-0057

URL <http://www.kirindo-hd.co.jp/> E-mail info@ir.kirindo-hd.co.jp